

稲作情報 No.15

高温・乾燥注意(水稻・大豆)

水田農業レベルアップ委員会 技術普及推進部会 [作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会]

水稻の早生品種については、**平年よりも5日程度早い出穂**となっており、**出穂後、高温が続いています**。
大豆は開花期となっており、**現在、圃場は非常に乾燥しています**。今後の乾燥ストレスは収量減少につながります。

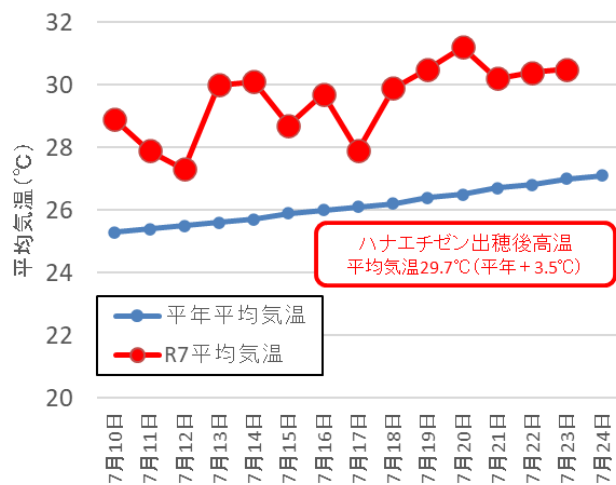
【水稻】

ハナエチゼンの収穫計画を再検討しましょう（出穂期が7/11の場合、成熟期の予測は8/10～8/11の見込み）
コシヒカリにおいては、今後の高温環境に耐えるため、出穂期前の追肥（耐暑肥）を検討しましょう
出穂期前後は水を切らさないようにしましょう
こまめな間断通水（入水⇒自然落水の繰り返し）で飽水状態（水田内の溝や足跡に水が溜まっている状態）をなるべく維持しましょう

【大豆】

畝間灌水を実施しましょう（畝間灌水の留意点は、稲作情報No13参照）

○ハナエチゼンは出穂後、高温で経過



7/11 ハナ出穂期

(福井市気象台データ)

○大豆圃場の乾燥により、大豆は乾燥ストレスを受けている



栽培管理支援情報サービス(SAKUMO)において水ストレス指数を算出
(あわら市圃場の例)



いちほまれ 生育ステージ

	農業試験場		現地 平坦地			現地 中山間	
栽培方法 時期	上旬移植 5/1	中旬移植 5/20	上旬移植 5/2	中旬移植 5/18	直播 5/4	中旬移植 5/17	直播 5/14
地点数	1	1	7	7	8	2	1
幼穂形成期	7/8	7/16	7/5	7/15※	7/16※	7/14	-
幼穂形成期 (平年)	7/7	7/14	7/6	7/15	7/16	7/14	7/19
出穂期	-	-	-	-	-	-	-
出穂期 (平年)	7/31	8/4	7/29	8/4	8/6	8/7	8/12

いちほまれ

ハナエチゼン・コシヒカリ・あきさかり 生育ステージ

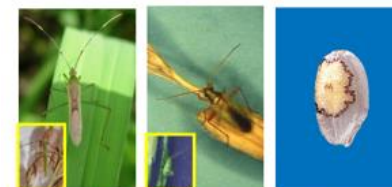
品種		ハナエチゼン			コシヒカリ					あきさかり			
調査場所		農業 試験場	JA坂井 農場	現地	農業 試験場	JA坂井農場		現地（慣行栽培）		農業 試験場		JA坂井 農場	現地
栽培方法 移植・播種時期		移植 5/1	移植 5/1	移植 4/29	移植 5/20	移植 5/15	直播 5/7	移植 5/16	直播 5/3	移植 5/1	移植 5/20	移植 5/15	移植 5/15
地点数		1	1	8	1	1	1	15	4	1	1	1	3
幼穂 形成 期	本年	6/24	6/25	6/24	7/12	7/9	7/14	7/12	7/13※	7/7	7/17	7/15	7/12※
	平年	6/27	6/27	6/27	7/12	7/10	7/15	7/11	7/14	7/9	7/14	7/14	7/12
出穂 期	本年	7/11	7/12	7/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年	7/16	7/16	7/17	8/2	8/1	8/6	8/1	8/4	8/1	8/4	8/5	8/2

(留意点) - はデータなし、※は一部データ欠損により数字が変更される場合があります

いちほまれ・コシヒカリ・あきさかりは、7月末～8月初旬に出穂期を迎える見込みです。

斑点米カメムシ類および他病害虫の防除は適期に実施しましょう

○ 斑点米カメムシ類の注意報が発令中！



クモヘリカメムシ アカスジカメムシ 斑点米カメムシ類による着色粒

○コシヒカリの出穂期前の追肥（耐暑肥）について

【追肥の目的】

高温によって稲体が消耗し、登熟期に葉色が急激に低下することを防ぎ、収量・品質向上につなげる

【追肥の時期および量の目安】

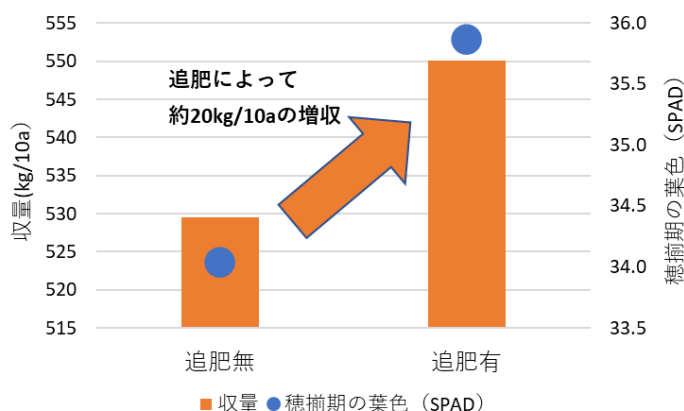
- ・追肥の時期: コシヒカリの出穂期 1 週間前～3 日前
(出穂期が昨年並みの8月1日とした場合、7月25日～29日)
- ・追肥の量の目安: 窒素分で 2 kg/10a程度
(硫安（窒素分約21%）の場合、9.5kg/10a程度)
- ・追肥の方法: 流し込み施肥やドローンでの追肥を推奨



時期の目安としては、圃場内に写真のような走り穂（もしくは走り穂直前の株）を確認したタイミング

【追肥の効果】

- ・令和 6 年に県内 6 地点で実証した結果、窒素分2kg/10aの追肥により葉色が向上し、収量および品質が向上。



【留意点】

- ・毎年、コシヒカリが倒伏するなど、地力の高い圃場では追肥はしない
- ・現時点で、十分に葉色が濃い場合は、追肥はしない
- ・粒状肥料を施肥する場合は、肥料の溶出を促すため、圃場に入水する。

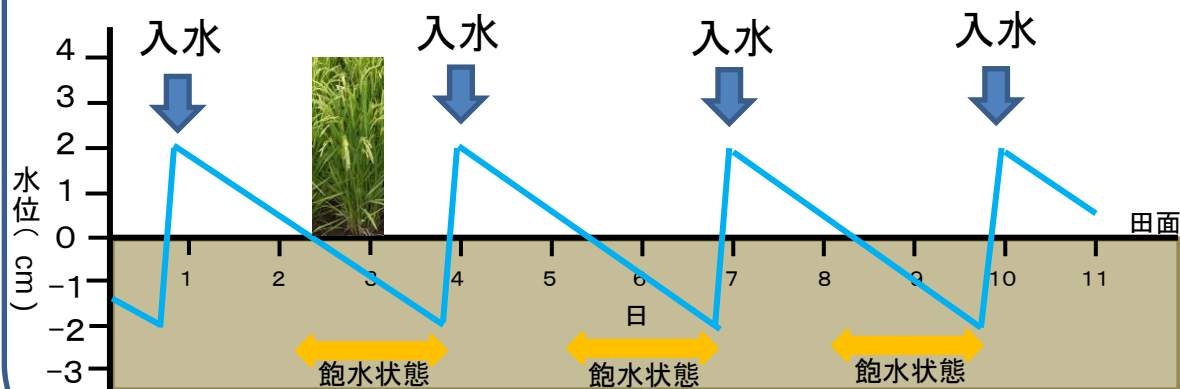
○水稻の今後の水管理について

- ・ 出穂期前後は水を切らさない
- ・ **こまめな間断通水**を実施し、飽水状態をなるべく維持する（水を長期間貯めない、長期間干さない）
- ・ 長期的な降雨や水持ちの良い圃場で、長期間湛水となる場合は、強制落水し、積極的な水の入れ替えを検討する
- ・ フェーンによる高温の際には、深水管理を実施し、フェーンが過ぎたら強制落水し、水を入れ替える

(留意点)

- ・ **地域や集落で用水系統や団地毎に入水時間を申し合わせるなど、地域全体で計画的に用水供給を行う**
- ・ 水不足により、輪番制となった場合は、しっかり入水することを優先する。
- ・ 圃場の水の状態は**入水口周辺だけでなく、排水口周辺も確認**する。

○こまめな間断通水のイメージ



○飽水状態のイメージ

水田内の溝や足跡に水が残る程度まで水位が減少してから入水する

